

# 多目的ホール照明機材安全マニュアル

2025年4月21日  
文責:多目的ホール総務部 照明班

## 1.概要

このマニュアルは駒場小空間で使われる照明機材の安全な利用について取扱説明書に基づき、事故や怪我、機材の破損につながる重要な部分をまとめたものです。調光室に置かれている取扱説明書も合わせて一読し、ホールで照明機材を使用する際は常に携帯することを推奨します。一部の照明機材の取扱説明書はインターネットからも閲覧できますのでご活用下さい。

また、実際に照明機材を利用する際の照明作業については照明講習会資料を参照し、不明点はホール総務部照明班に問い合わせてください。

## 2.駒場小空間にある照明器具一覧

種類	型番	最小隔離距離(m)	最小照射距離(m)
CSQ(旧)	CSQ-1000W	0.3	4.3
CSQ(新)	MSC-810-1500	0.6	1.5
500FQ(旧)	FQH-500WS1-RC2	0.2	1.6
500FQ(新)	FQH2-604S1-750	0.5	1.5
KFQ(旧)	FQH-1000WS1-16RC2	0.3	2.4
KFQ(新)	FQH2-805S1-1500	0.6	2.0
PAR(旧)	SPHⅢ-1000W	0.4	2.6
PAR(新)	SPH3-1000-AL	0.3	2.6
S=F(旧)	ソース・フォー-426	0.2	0.7 *1
S=F(新)	ECR2-26C-750	0.4	0.9 *2
UHQ	UHQ-200W12L-3C(D)	0.1	0.6
LHQ	LHQ-200W12L-3C(D)	0.1	0.6

\*1 50度の筒を使用している場合は最小照射距離は0.4mです。

\*2 50度の筒を使用している場合は最小照射距離は0.5mです。

### 3.全灯体の注意事項

- ・照明器具は外灯りを除き全て屋内用です。ホールの外に持ち出さないでください。
- ・器具を設置する際は正しい方向で取り付けてください。
- ・40°C以上の環境で使用しないでください。
- ・不安定な場所や燃えやすいものの近くで使用しないでください。
- ・器具の点灯中や消灯直後は本体周辺を素手で触らないでください。
- ・最小隔離距離に従って設置してください。最小隔離距離とは可燃物と灯体周辺面との間の最小距離です。特に幕や木造の構造物と灯体は少なくともその距離だけ離して設置してください。(灯体ごとの最小隔離距離については2.駒場小空間にある照明器具一覧を参照)
- ・最小照射距離に従って設置してください。最小照射距離とは灯体と被照射対象物との間の最小距離です。光を幕や木造の構造物などに照射する場合、少なくともその距離だけ離して設置してください。(灯体ごとの最小照射距離については2.駒場小空間にある照明器具一覧を参照)
- ・電源接続は確実に行って下さい。接続が不完全な場合は接触不良により発熱し、火災の原因となります。
- ・バンドアがついている灯体についてはバンドアを閉じたまま点灯しないでください。
- ・設置の際は電源コードを灯体本体に接触しないように離して設置してください。
- ・上下使用角度に従って設置して下さい。上下使用角度および上下方向は灯体に記載されています。
- ・灯体を吊りこんで使用する場合は、落下防止ネジ、固定ボルトを確実に締め、落下防止ワイヤーを装着してください。
- ・カラーフィルターを使用する場合は、フィルタホルダを固定金具でロックしてください。
- ・器具を分解、改造しないで下さい。

### 4.各灯体に個別の注意事項

S=F

- ・カッターを完全に閉じた状態で点灯しないでください。
- ・アイリスシャッターを装着して使用する場合、アイリスシャッターを完全に閉じた状態で点灯しないでください。